

● 顕現後第七主日

泉のほとり

今月の詩編「第九十二編」

いかに楽しいことでしょう

主に感謝をささげることが

いと高き神よ、御名をほめ歌い

朝ごとに、あなたの慈しみを

夜ごとに、あなたのまことを

述べ伝えることは



教会の姿勢を整える

使徒言行録の第六章は、聖霊降臨によってエルサレムに誕生した最初の教会が、初期の段階を終えて、教会として伝道を始める時期のことを記しています。そこで特徴的なのは、教会員を弟子と呼んでいることです。弟子とは、主イエスに招かれて主に従った者たちです。招かれなければ弟子にはなれません。福音書で弟子と呼ばれるのは、殆どが十二人の使徒と呼ばれる弟子です。それがここでは、普通の教会員が弟子と呼ばれます。主イエスとの関係において、使徒たちと同じ者とされたのです。

その教会に問題が起りました。貧しい信徒たちの中でも特に厳しい生活をしていたやもめたちに、教会は日々の配給をしていましたが、ギリシャ語を話すやもめたちがおろそかにされていると苦情が出たのです。教会の大部分はヘブライ語を話す人たちで、ギリシャ語を話す人は少数です。だから配慮からもれたのです。教会は初めから、問題を抱えていたのです。言葉が通じず、心も通じないという問題です。そうなったのは伝道して人が増えたからです。だからこれは伝道する教会の必然です。乗り越えなければなりません。

そこで使徒たちが提案して、霊と知恵に満ちた評判のよい人を七人選んでこの仕事を任せることにしました。使徒たちが食事の世話に忙殺されずに、祈りと御言葉の奉仕に専念するためです。御言葉は教会の生命線です。教会の命に関わります。使徒たちはそこに集中しようとしたのです。

そこで選ばれたのは霊と知恵に満ちた人です。求められたことは、食事の世話をスムーズに行うシステムを考えることです。そのために必要なのは知恵です。しかし彼らは霊と知恵に満ちた人を選びました。霊は私たちの中で神さまと向き合う部分です。知恵があるだけでなく、神さまとの豊かな交わりに生きている人を選んだのです。その中の二人、ステファノとフィリポは、伝道者としても有力な働きをしました。

使徒たちは選ばれた七人の上に手を置いて祈りました。聖書で人の上に手を置くのは、病を癒す時、祝福する時、自分の任務と権限を他の人に受け継がせる時の三つです。この七人は使徒と力を合わせて、群れを導く務めと権限を与えられたのです。

こうして教会は姿勢を整えて伝道へと邁進したので、神の言葉はますます広まり、弟子の数が増えて、祭司も大勢信仰に入りました。問題を乗り越えて、教会が元気になったのです。

わたしたちの教会も今問題の中にあります。人と人との心が通じなくなっています。求められるのは正しい対処をすることです。問題を無視したり避けることは御心ではありません。正しく対処して、これを取り越え、元気な教会を回復したいと願います。

(使徒六・一〜七 吉村和雄 名誉牧師)

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○臨時役員会をカナルームで行います。役員の方はご出席ください。

○次週三月二日は、三月総会準備のための教会員懇談会を行います。総会資料は次週配布予定です。

《ぶどうの会より》

礼拝後、ぶどうの会を第二・三シオンルームで行います。

《役員会より》

一月二六日の教会研修会で話し合われた内容を取りまとめた資料を、皆様のレターボックスに配付していますのでご覧ください。（各グループ毎の詳細版と、「質問」と「提案」を別様としたまとめ版の二種類です。）三月二日の三月総会準備のための教会員懇談会の中で取扱う予定です。当日ご持参願います。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

〔詩篇九十二篇〕

賛歌。歌。安息日に。

いかに楽しいことでしょう

主に感謝をささげることは

いと高き神よ、御名をほめ歌い

朝ごとに、あなたの慈しみを

夜ごとに、あなたのまことを

述べ伝えることは

十弦の琴に合わせ、堅琴に合わせ

琴の調べに合わせて。

主よ、あなたは

御業を喜び祝わせてくださいます。

わたしは御手の業を喜び歌います。

主よ、御業はいかに大きく

御計らいは、いかに深いことでしょう。

〔司・会〕

愚かな者はそれを知ることなく

無知な者はそれを悟らうとしません。

神に逆らう者が野の草のように茂り
悪を行う者が皆

花を咲かせるように見えても

永遠に滅ぼされてしまいます。

主よ、あなたこそ、永遠に高くいます方。

主よ、あなたに敵対する者は必ず

あなたに敵対する者は、必ず滅び

悪を行う者は皆、散らされて行きます。

あなたはわたしの角を野牛のように上げさせ

豊かな油を注ぎかけてくださるでしょう。

わたしを陥れようとする者をこの目で見

悪人がわたしに逆らって立つのを

この耳で聞いているときにも。

神に従う人はなつめやしのように茂り

レバノンの杉のようにそびえます。

主の家に植えられ

わたしたちの神の庭に茂ります。

白髪になっても、なお実を結び、

命に溢れ、いきいきとし

述べ伝えるでしょう。

〔司・会〕

わたしの岩と頼む主は正しい方

御もとは不正がない、と。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「よい王さまと悪い王さま」

聖書 サムエル記上8章1〜9節

説教者 吉村和雄名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)

説教 「退けられるサウル王」

聖書 サムエル記上15章17〜23節

説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝(午前10時30分・礼拝堂)

讃美歌 80番 154番

説教 「空っぽになった墓」

聖書 ヨハネ20章1〜18節

説教者 黄允湜牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 73番 II195番
説教 「真理に逆らえない人」
聖書 ヨハネ19章31～42節(新約 P.208)
司式 石川一兄
聖餐司式 黄允湜 牧師
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「救いは天より来たる」 作者不明

○讃美歌73番

- くすしきかみ たえなる主よ かいなきわれにも
くだしたまえ 主のみたまを あふるるばかりに
あたえたまえ 主をたたうる うたごころを
- あおき空よ つくりぬしのみいつをあらわせ
かがやく日よ 主なるかみの みさかえ示せや
つきよ、ほしよ こえをあわせ み名をほめよ
- かみを知れる ひとの子らよ すくいをたたえよ
主をあいする あまつたみよ み代をばことほげ
とわにいます 主なるかみに みさかえあれ

アーメン

○讃美歌II195番

- 1.キリストにはかえられません 世の宝も また富も
このおかたがわたしに 代わって死んだゆえです
※くりかえし

(世の楽しみよ 去れ 世のほまれよ 行け

キリストにはかえられません 世のなにものも)

- 2.キリストにはかえられません

有名なひとになることも ひとのほめることばも

このころをひきません ※

- 3.キリストにはかえられません

いかにうつくしいものも

このおかたでこのころの 満たされているいまは

アーメン

聖餐曲 「まことなるみ神を」 J.S.バッハ

後奏曲 「ジーク」

(トランペットとオルガンの為のアリアより)

G.P.レマン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。